

高橋とおるの視点・考え

2005年度の指定管理制度の導入以降、応募がゼロのため再公募になったのは今回が初めてです。

県立美術館と県立図書館では来館者への対応など運営自体は県が直営で行い、施設の維持管理業務のみ民間に委ねています。このような指定管理では、運営コストの増加を入館料などに反映させ、収支を合わせることが困難です。

指定管理の上限額を設定する過程で、適切な状況把握が出来ていたのか検証が必要でしょう。

また、現行の指定管理のルールでは、管理期間中の物価変動リスクは事業者が持つことになっていますが、コロナ禍や物価高騰など想定外の変化が短期間に起こった訳ですから、答弁にもあるように、県には、必要に応じた支援の検討など柔軟な対応をお願いしたいと思います。

質問項目4. 自転車の交通安全について

質問 東京都では、自転車事故が相次いでいることから、警視庁が取り締まりを強化している。岡山県の自転車に関係する事故の発生状況や死者数はどうなっているのか。

自転車利用者に対する指導取締りや安全利用に向けた取組についても併せて伺う。

答弁 岡山県の自転車に関係する人身交通事故の発生状況は、本年10月末現在749件で、前年比マイナス104件となっているものの、自転車乗車中の死者数は16人で、前年同期比プラス10人となっている。死者16人のうち11人は高齢者で、半数の8人は車両単独事故。うち6人は用水路等への転落事故で亡くなっている。さらに自転車乗車中の事故で死傷された方の6割以上に信号無視、指定場所一時不停止、右側通行等の法令違反が認められている。

県警では、自転車利用者に対する指導取締りを行っていて、本年10月までに遮断踏切立ち入りやブレーキ装置不良など22件を検挙したほか、一時不停止や無灯火などの違反に対して9,500件の警告を行った。

交通安全教育としては、中学、高校の中からモデル校を指定し、自転車のルールやマナーの習得に取り組んでいるほか、各学校で短時間の学習会等も実施している。また、高齢者等あらゆる世代を対象に、地域で交通安全教室を行っているところだ。(県警本部長)



「おかやまマラソン2022」開催！



昨年11月13日、「おかやまマラソン2022」が開催されました。あいにくのお天気でしたが、11,145人のランナーが出走し、沿道の応援者は7万8千人、EXPOには延べ4万2千人が来場しました。多くのボランティアが大会運営に関わっていただいたことも含め、コロナ禍から地域の社会経済を復活させる一つの象徴として、大会開催の意義は大きかったと思います。マラソン大会を評価するランナー向けのサイトでの評価も高く、運営の緻密さや、途絶えることのない沿道の声援、ボランティアスタッフの態度などを称える声が多く寄せられています。全国でも屈指の満足度が高い大会として改めて認識が深まった感があります。伊原木知事も初マラソンに挑戦し、見事(何とか?)42.195kmを完走され、大会は大いに盛り上がりました。

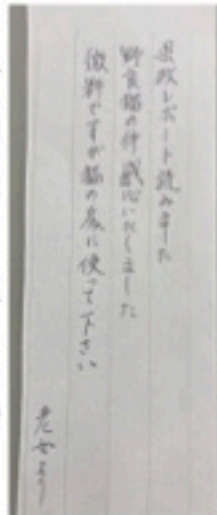
私は、諸般の事情で出走が叶わず、悔しかったので、3週間後の12月4日に兵庫県明石市で開催された「明石城公園マラソン」のフルマラソンに出場しました。記録は、3時間51分46秒。アップダウンが連続する難コースでしたが、最低限の目標だった4時間を切る事が出来ました。



【御礼とご報告】

県政レポートvol. 37で、野良猫の里親探しに取り組む「猫の保健室むーちょ」さんをご紹介したところ、私の事務所に写真のお手紙と現金が届きました。匿名のため連絡がとれなかったため、この場を借りて御礼を申し上げます。

お金は、全額をむーちょさんにお届けしていますので、併せてご報告致します。お心遣いに心より感謝致します。



岡山県議会議員 高橋とおる

県政レポート

Vol. 39 2023新年号



発行:高橋とおる事務所 発行日:2023年1月10日
〒703-8271 岡山市中区円山118 サンライズビル201
TEL(086) 238-7775, FAX(086) 238-7785



高橋 徹 プロフィール|1967年生まれ、岡山市立可知小学校、同旭東中学校、岡山県立西大寺高校、中央大学を経て、1989年㈱天満屋入社。2005年全天満屋労働組合中央執行委員長。2010年連合岡山会長。2015年岡山県議会議員初当選。2019年2期目当選。2021年12月、新国民民主党岡山県連を結成、幹事長に就任。趣味はマラソン(フルマラソン3時間切りを複数回達成)。

公式WEBページ

facebook

YouTubeチャンネル



「岡山県高校生議会」を開催！

岡山県内の公募の高校生らが県政の課題を話し、意見を提言する「高校生議会」が昨年12月16日、



県議会本会議場で開かれました。生徒たちは産業振興や教育などをテーマに若者の視点を生かした質問を繰り出し、答弁に立った議員と論戦を展開しました。

岡山市など7市町の公立・私立高、特別支援、高等専門、専門の計17校67人が参加。議長役の生徒が議事を進行し、各校代表が5分の持ち時間で質問。県議会の各常任委員会の委員長・副委員長が執行部役を務め、私も総務委員会副委員長として執行部席に座りました。

参加校ごとの質問項目は右記の通りですが、各校とも、国や県が公表している統計等を分析するなど、しっかりと準備をした跡がうかがえる質問ばかりで、再質問では執行部役の議員が答弁に窮するシーンもみられました。

私が何より感心したのは、参加されている生徒の皆さんの取り組み姿勢です。演台に立つ方々はもちろん、議場や傍聴席で議論を聴いている生徒さんたちも真剣にメモを取るなど、とても集中されていました。

新型コロナウイルスの影響で3年ぶりの開催でしたが、議員の私たちも、心地よい緊張感と新鮮な刺激をいただいたと感謝しています。

参加校及び質問項目

県立岡山芳泉高等学校	1 ふるさと納税について 2 D.V防止について
金光学園高等学校	1 企業誘致における岡山県の魅力について 2 精神障がいのある人の就業支援の取組について
県立和気岡谷高等学校	1 グリーンエネルギーの普及について 2 ももっこカードの普及について
県立倉敷青陵高等学校	1 学校でのスマホ使用について 2 グローバル人材育成に係る取組について
創志学園高等学校	1 子どもが農業に関わる政策について 2 農業の経営規模拡大について
県立津山東高等学校	1 企業のデジタル化について 2 自転車の交通マナーについて
県立玉島商業高等学校	1 子どもの運動不足について
県立早島支援学校	1 施設等のバリアフリー化について 2 障害者の社会参加に向けた取組について
県立岡山御津高等学校	1 中山間地域等の道路整備について 2 岡山後楽園の観光政策について
清心女子高等学校	1 若者の投票の遅滞について
県立岡山城東高等学校	1 1人1台端末の活用について 2 教員不足について
県立岡山東商業高等学校	1 災害時のペット同行避難について 2 介護人材の抱い手確保対策について
県立玉野高等学校	1 地域未来投資促進法による支援について 2 観光客数の安定した確保について
津山工業高等専門学校	1 豊かな森林への整備について 2 林業分野におけるIoT等の活用について
県立鴨方高等学校	1 岡山県立高等学校教育体制整備実施計画について 2 地元自治体や企業等との連携・協働活動について 3 部活動の在り方について
中国デザイン専門学校	1 文化の力を活用した地域活性化について
県立岡山朝日高等学校	1 県財政の長期的展望について 2 ボランティアへの支援等について

11月定例県議会「高橋徹」代表質問報告

11月定例会では、所属会派「民主・県民クラブ」を代表し、代表質問に登壇。17項目の質問を行いました。質問のうち主なものを抜粋し、ご報告致します。なお、質問動画が県議会のホームページにアップされています。ご関心のある方は右記QRコードのリンク先をご覧ください。



質問項目1. 国の総合経済対策について

質問 国は、10月に「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を閣議決定した。知事の受け止めを伺う。また、経済対策の内容や予算規模を踏まえ、県はどのような政策を検討しているのか。重点的に対応する政策領域や、国や基礎自治体との役割分担を踏まえた強化ポイント、事業イメージなど、現時点の所見を併せて伺いたい。



答弁 コロナ禍に加え、物価高騰により、さらに深刻な影響を受けている地域経済の現状を踏まえ、これまで地方が求めてきた対策を実現していただいたと感じている。

また、今回の経済対策には、出産・子育て応援交付金や全国旅行支援、防災・減災、国土強靱化の推進などが盛り込まれており、県においても、これらに呼応したものを中心に事業の検討を進めているところであり、今後、補正予算を速やかに編成(※1)していく。(知事)



(※1) この質問を行った6日後の12月8日に、県は、11月30日(議会開会日)に上程した11月補正予算案の追加分として、下記の予算案を上程し、12月21日(議会閉会日)に議決されました。

【補正予算(追加分)の総額】

303億1,428万円 (財源:負担金5.8億円、国庫支出金173.1億円、繰入金4.6億円、県債119.7億円)

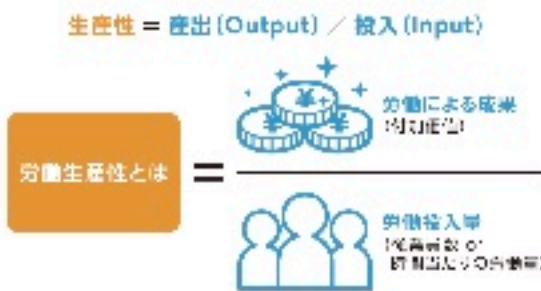
【事業内容】

- 物価高騰・賃上げでの取組 4.5億円 (中小企業の金利負担軽減のための利子補助、ネット通販での県産品の販売促進など)
- 円安を活かした地域の「稼ぐ力」強化 43.4億円 (おかやまハレ応援割の延長など)
- 「新しい資本主義」の加速 18.9億円 (市町村が実施する出産・子育て応援交付金事業への支援など)
- 防災・減災、国土強靱化の推進など安全・安心の確保 236.3億円 (流域治水の推進等、送迎用バスの安全装置回収への支援など)

質問項目2. 賃金の引き上げについて

(1)生産性向上の支援等について

質問 持続的な賃上げには、生産性の向上が不可欠だ。県は、これまで、生産性が低いとされる県内の中小企業やサービス業事業者に対し、生産性向上に向けた支援を継続実施してきたが、その評価と課題について伺う。また、国の総合経済対策を受け、今後どのような施策を検討するのか。



答弁 これまで県内企業に対し、生産性向上に向けた相談対応や専門家派遣、設備導入支援などを実施し、一定の効果があつたものと認識している。一方で、長引くコロナ禍や物価高騰による経費増の影響で、賃上げを行うには、更なる生産性の向上が不可欠となっている。

このため、国の動きを注視しながら、経営改革やデジタル化、販路開拓など、企業ニーズを踏まえ必要な支援に取り組んでいきたい。(知事)

(2)産業人材の育成等について

質問 国の総合経済対策には、人への投資として、労働移動の円滑化や在職者のキャリアアップのためのリスキリング(※2)支援なども盛り込まれた。「人への投資」の観点から、産業人材の育成や個人のキャリアアップ支援にどのように取り組むのか、所見を伺う。

答弁 県では、成長が見込まれる分野の職業訓練の拡充に努めるとともに、中小企業の若手から管理職、経営者までを対象に、デジタル技術の習得や生産性の向上を目指した研修を実施している。引き続き、デジタル化など急速に進む環境変化や企業や働く人のニーズを踏まえ、リスキリングを含めた産業人材の育成に取り組む。(知事)

(※2)リスキリング:新しい職業に就いたり成長が見込まれる社内の新たな業務に当たったりするため、必要なスキルを身につけること。または、そのための教育訓練等の取組の総称。

高橋とおるの視点・考え

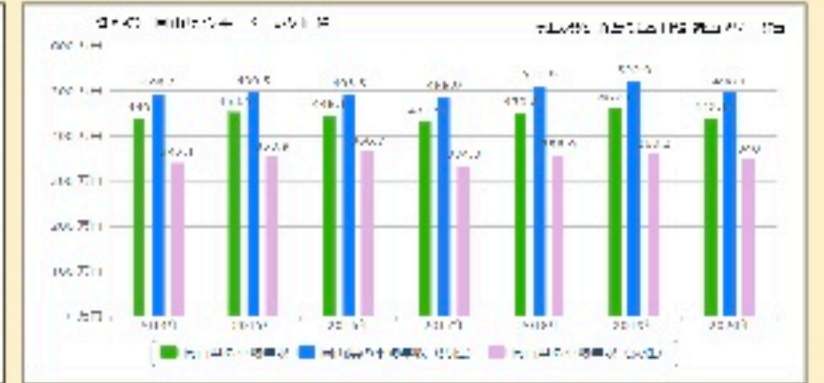
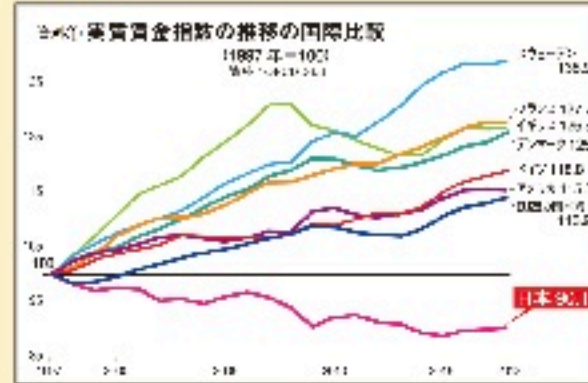
いま、コストプッシュ型のインフレが進んでいます。物価上昇を上回る賃金の引き上げがなければ、生活者にとって極めて厳しい経済状況になってしまいます。

それでは、賃金の状況はどうなっているのでしょうか。資料①のように、物価変動の影響を加味した日本の労働者の実賃金指数は、1996年以降下がりが続いています。先進国で下がりが続いているのは日本だけです。岡山県の状況はというと、資料②の通りで、ここ10年近くほぼ横ばいで、日本全体の状況と同じ傾向です。

いま日本は、物価は上がるのに経済は低迷するスタグフ

レーションに陥りつつあります。今こそ、賃上げが必要です。国や県が民間企業の賃上げに直接関与することは出来ませんが、首相や知事などトップリーダーがその重要性を発信したり、経済団体へ働きかけたりして、ムードを醸成することはとても重要だと思います。制度面では、賃上げをした企業への優遇税制は今もあります。更に深掘りすべきでしょう。また、持続的な賃上げには、生産性の向上が不可欠です。とりわけ、生産性が低いとされる、中小企業やサービス業事業者への支援強化が求められます。

特に県に望むことは、企業の人材教育や個人のキャリアアップへの支援です。国が力を入れているリスキリングなど「人への投資」をさらに強力に推進していただきたいです。



質問項目3. 指定管理者について

質問 2023年度から5年間の県立美術館と県立図書館の指定管理者公募(※3)は、応募がいずれもゼロだった。県側が提示した管理料では、急激な物価高騰に伴うコストの増加分を賄いきれないとして敬遠されたとみられる。管理料を約3割増額して再募集したが、今後も同様の事態が起こる心配がある。どう対応するのか。また、現在、指定管理を行っている施設の中にも、コロナ禍や物価高騰で綱渡りの運営を行っている事業者が少なくない。指定管理者の現状に関する問題意識と対応について伺う。



岡山県立図書館

答弁 施設の指定管理料は、指定しようとする期間の上限額を算定し、公募しようとしているところであり、今後、より適切な算定に努めたい。また、地域経済がコロナ禍や物価高騰に影響を受ける中であっても、円滑な施設運営がなされるよう、指定管理者の状況把握に努め、必要に応じて支援を検討するなど、適切に対応していきたい。(知事)

(※3)指定管理者制度:公共施設の管理・運営を、企業や財団、NPOなどの法人・団体に包括的に代行させる制度。民間のノウハウを活用しながら、市民サービスの向上と経費の節減を図ることが目的。